



議会だより



(春の羊蹄山)

● 令和8年第1回定例会

もくじ

審議された議案と結果	P 2
第1回定例会議案の審議要旨	P 4
総括質疑	P 7
予算特別委員会	P 17
臨時会の審議要旨	P 29
議会の動き	P 30
編集後記	P 30

第198号

令和8年6月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

令和8年第1回定例会（3月11日～3月17日）

3月11日	下表の議案審議（一部は別日程） 令和8年度予算においては、3月17日に予算特別委員会を設置し集中的に審査（4ページ参照）
3月12日	町長より令和8年度町政執行方針の提案 教育長より令和8年度教育行政執行方針の提案 副町長より令和8年度一般会計・3特別会計・2事業会計予算提案
3月16日	町政執行方針、教育行政執行方針に対する総括質疑（7ページ参照）
3月17日	予算特別委員会（17ページ参照）

<令和8年度予算>

一般会計	総額 34億4,726万5千円	原案可決	予算特別委員会 17ページ参照	
国民健康保険特別会計	総額 6,365万6千円	原案可決		
後期高齢者医療特別会計	総額 5,085万1千円	原案可決		
簡易水道事業会計	【収益的収入及び支出】 収入1億1,695万7千円 支出1億1,694万3千円	【資本的収入及び支出】 収入1億6,281万8千円 支出1億8,890万4千円		原案可決
下水道事業会計	【収益的収入及び支出】 収入1億5,640万4千円 支出1億5,965万9千円	【資本的収入及び支出】 収入 8,246万9千円 支出1億1,052万1千円		原案可決

<計画策定>

喜茂別町過疎地域持続的発展市町村計画	現在の過疎計画の期限が切れることから、令和8年度から令和12年度までの5年間延長	原案可決	質問あり 4ページ
--------------------	--	------	--------------

<条例制定>

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	児童福祉法の一部が改正され、こども誰でも通園制度が創設されたため、設備及び運営に関する基準を定める	原案可決	
特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	こども誰でも通園制度創設に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める	原案可決	

<条例改正>

組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例	元気応援課を保健福祉課に改称し、保育所の所管を教育委員会から保健福祉課に移管することにより、こども家庭センターの機能の充実を図る	原案可決	
国民健康保険税条例	新たに子ども・子育て支援金分が追加され4区分で構成される	原案可決	質問あり 4ページ
議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	物価変動を鑑みた公費負担額の改正	原案可決	
特別職の職員の給与及び旅費に関する条例	町長の給与月額を65万円から70万円に改め、特例として令和10年7月31日までは67万円とする	原案可決	質問あり 5ページ
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	市町村費負担教職員の配置に向け、教育職において新たに職務の級、適用する号俸を追加する	原案可決	質問あり 5ページ

職員の旅費に関する条例	宿泊料を上限付き実費支給に改めるなどの改定	原案可決	
職員私有車の公務使用に関する条例	職員の旅費に関する条例に合わせ、内容を整理するため、条例の一部を改正	原案可決	
「財政事情」の作成及び公表に関する条例	本条例に規定されている引用条項にずれがあることから、正しい条項に改める	原案可決	
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例	新たに希望者に月額1890円にて、米飯の提供を開始するため改正	原案可決	質問あり 5ページ
児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	児童福祉法等の一部改正により、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の内閣府令が改正されたことに伴い、関係する条例の改正	原案可決	

<指定管理者の期間の変更>

喜茂別町立診療所	指定期間満了日を令和8年3月31日から令和9年3月31日まで1年間延長	原案可決	
----------	-------------------------------------	------	--

<規約変更>

羊蹄山麓障害支援区分認定審査会共同設置規約	認定審査会の執務場所を「倶知安町保健福祉会館」から「倶知安町役場」へ変更	原案同意	
-----------------------	--------------------------------------	------	--

<令和7年度補正予算>

一般会計（第9回）	ふるさと応援寄附金の増額、胆振線代替バス運営費補助金の計上など422万6000円の増額	原案可決	質問あり 6ページ
国民健康保険特別会計（第3回）	広域連合分賦金の確定などにより377万5000円の増額	原案可決	
後期高齢者医療特別会計（第3回）	不用額などにより20万4000円の減額	原案可決	

<発議案>

喜茂別町議会委員会条例	課設置条例の改正に伴う課名変更	原案可決	
-------------	-----------------	------	--

令和8年第1回臨時会（1月22日）

<令和7年度補正予算>

一般会計（第6回）	全国中学校スキー大会経費など141万5000円増額	原案可決	質問あり 29ページ
-----------	---------------------------	------	---------------

令和8年第2回臨時会（2月16日）

<令和7年度補正予算>

一般会計（第7回）	第51回衆議院議員総選挙事務経費により369万6000円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第8回）	車両修繕料、除排雪業務委託料、全日本小学生スキー大会参加経費など1344万8000円増額	原案可決	質問あり 29ページ

定例会 3月11・12日

喜茂別町過疎地域持続的発展市町村計画の策定について

山下議員

公営住宅の解体工事や、教職員住宅の改修事業が掲載されているが、12月に私が一般質問した伏見の教員住宅の解体なり、改修なりは、この過疎事業に該当はしないのか。

大元総務課長

該当の住宅については、改修するとしても、費用等がかかってくるので、現在計画には入っていない。

解体についても特段目処がついていないので計上していない。

山下議員

将来的に、解体するとなった場合は、計画を変更するなりしたら、該当する可能性はあるのか。

大元総務課長

建物の解体に、必ず過疎債が借りられると言うわけでもなく、解体する目的やその後の利活用なども影響してくるので、有利に進められるのであれば、掲載をして行く考えはある。

小川議員

集落整備計画に、「ちょっと暮らし体験事業」が書かれているが、利用料や場所など伺いたい。

井原まちづくり振興課長

詳細は具体的に決まってはいない。

日下議員

古い中学校の解体に過疎債を発行することは可能なのか。

大元総務課長

解体後に新たな利活用の中で、過疎対策に資する事業だとすれば、過疎対策事業債の発行も認められると思うが、壊して更地にするのみではなかなか厳しいという印象でいる。

日下議員

中山峠観光施設改修事業に充当できるのか。

大元総務課長

普通財産への充当が基本的には認められていないので、難しいと思っている。



▲中山峠高原ホテル

日下議員

この計画を作るにあたっての理由として、ゼロカーボンシティ宣言をしているからとしているが、ゼロカーボン宣言は、前の町長が一方的にしたもので、議会も町民も理解していないのに、なぜあえて載せてあるのか。

林町長

やりかたはおかしかったが、目的などは正しいのではないかとということで、あえて表現させていただいた。

日下議員

あえて触れなくてもいいのではないのか。

林町長

あえて載せるべきではなかったと言うことは理解したので、5年後、文言については、ある程度整理したい。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

山下議員

令和12年度に全道統一されるので、それに合わせて基本的には上がっていく一方だと理解していたが、今回、一部所得割等下がっている理由を教えてもらいたい。

※過疎債とは返済金額の7割が国から交付される非常に有利な地方債。発行するためには、過疎地域持続的発展市町村計画の策定が義務付けられている。

菅原住民課長補佐

北海道の標準保険税率を参考に見直しを行った結果、今回のような形となっている。

特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

菊地議員

次期町長の任期から適用された理由と、特別職の中で町長のみとしたことについて伺いたい。

林町長

菅原元町長の時代に月額67万円に削減し、任期終了の時点で、次の町長のために月額70万円に改正されたが、内村前町長の就任時65万円に減額した。

70万円が妥当だという思いがあるが、任期中までは67万円とさせていただいた。

留寿都、真狩については副町長は60万円、教育長については、真狩が55万円、留寿都が55万1000円、本町については副町長60万円、教育長56万円になっているので変更しなかった。

喜茂別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

越後議員

どのような状態になると複式学級になるのか。

秋山教育次長

隣り合う二つの学年で児童数が16名以下になった場合である。

越後議員

過去10年ぐらいの児童数の推移はわかるか。

秋山教育次長

平成27年は、喜茂別小学校85名、鈴川9名の94人の児童がいたが、令和7年度は64人である。

越後議員

後志管内で複式学級になっているところは他にもあるのか。

秋山教育次長

羊蹄山麓で複式学級はないが、神恵内、積丹、泊、赤井川、仁木、寿都、島牧など、複式学級で学校運営を担っている。

越後議員

この現状正直どのように考えているか、町長一言いただきたい。

林町長

本町で働く場がないということで、家を建てて、土地を買って、定住することが難しい状況である。

しかし、クレードルも再開したし、色々な部分で、本町も土地が安いということで、これから新たな人口が増えてくるのではないかと期待している。

ふるさと納税についても、約2億円のうち30%が未来ある子供たちのために使ってくれという希望があるので、そういう観点で、使って定住を図っていききたい。

喜茂別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

山下議員

羊蹄山麓で主食を持参しているのは、本町だけだと思うので、一步前進と思っている。

しかし、私も複数の保護者の話を聞いたが、この1890円という価格が、正直、想定よりも高い。

私が、昨年6月の一般質問で例に出した音更町は800円、近隣で見ても二セコ町は1000円、留寿都、真狩、京極に関しては無償という状況になるが、この1890円の内訳の説明を求める。

小熊保育所長

米飯の見積もりが90円だったので、21日で1890円と出した。

山下議員

単純に、お米代だけで考えたら、100gちよつとのごはんを作るのに、900円ぐらいと私は計算している。

それに電気代や人件費などがあって、こ

の1890円だと思ったので、その内訳をほし
かったが、特に計算はしていないという理解
でよろしいか。

小熊保育所長

一食90円に、人件費などは加算されてい
ない。

山下議員

仮に5kg4500円だとしても、1食50g
のお米で100gちょっとのご飯は作れる。

20日で考えても、900円ぐらいしかお米
代はかからないのに、1890円を求める。

再度説明を伺いたい。

小熊保育所長

お米は値上がっていて、一応令和8年度以
降90円が妥当だということで、見積もりを
受けた。

山下議員

準備する手間とか衛生面とか、温かいごは
んが食べられるとか、お米代プラスの価値は
あると思うが、1890円だったら持参した方
が良いという方が多くなることも考えられる。

例えば一か月ごとに変更できるのかなど、
細かいことは決まっているのか。

小熊保育所長

夏場だけ衛生面等を考えて選びたいという
方もいると思うので、月々で確認をしていき
たいと思っている。

山下議員

アンケートの結果にもあったが、お米の産
地や生産年度を確認した上で、判断したいと
いう話もあったが、そういった情報の公開に
ついてはどのように考えているのか。

小熊保育所長

情報提供できる。

山下議員

この1890円という金額を、将来的に引き
下げて行こうという考えはあるのか。

林町長

米代のほかに、人件費など、色々含んで見

積もりが来ていると思っているが、1890円
が妥当かどうか後で精査する。

現実的に、管内の状況を見て、900円だと
か500円だとか、色々あるので、一度やって
みて、全然利用しないというのであれば、改
めて翌年度考えて、アンケートを取り、値下
げするとか、全額無償にできるのか予算も含
め検討したい。

令和7年度喜茂別町一般会計補正予算（第9回）について

岩部議員

胆振線代替バス運営費補助金が、毎年のよ
うにあるが、赤字が出ていて負担している
ということか。

井原まちづくり振興課長

おっしゃる通りである。

山下議員

再資源物売払い代21万円の説明を伺いたい。

菅原住民課長補佐

ペットボトルペール（塊）売払い料金とし
て、令和7年度からサントリーに売っている
代金である。



▲ペットボトルペール（圧縮梱包）

山下議員

障害福祉サービス費の増720万5000円の
詳細を伺いたい。

菊地元気応援課長

こういったサービスは、いつどこでどのよ
うなサービスを受けるのか非常に読みづらい。

今年度、事業見込みに対して不足が見込ま
れるため、補正するものであり、これに対す
る財源としては国の負担金や、道の負担金が、
同じく歳入の方で担保されている。

総括質疑 3月16日

※総括質疑とは新年度の予算案及び
町政執行方針に対し、主に政策に
対して総括的に質問するものです。



もとひさ てらじま
本久 哲士 議員

本久議員

ゴーストオブヨウテイについて、執行方針
に「羊蹄山などの景観を観光資源として捉え、
効果的に発信する方法を、今後発足する羊蹄
山麓地域連携協議会で連携し、検討する」と
記述されている。

ニセコ町では、第1弾として、地元業者と
コラボしたグッズが発売され、私は、羊蹄山
麓地域で連携して行われたものと認識してい
たが、これはニセコ町単独の事業であり、羊
蹄山麓地域連携協議会はまだ発足していない
のか。

林町長

羊蹄山麓地域連携協議会は、令和7年12
月1日に発足し、事務局はニセコ町商工会観
光課になっている。

本久議員

発足した上で、既にもうグッズが第1弾と
して販売されたということか。

林町長

ソニーの利用権があり、ニセコ町だけは連
携している状況である。

残りの6町村については協議しながら、商
標権を見極めて計画していく形になると思
う。

本久議員

昨年の総括質疑では、尻別川周辺の伐採や
郷の駅周辺の整備に努めると答弁があった。

郷の駅周辺については、アスファルト舗装
が行われるなど、景観の整備も進められたと
認識しているが「羊蹄山などの景観を観光資
源として発信していく」ための準備につい
ては既に整っているという認識か。

林町長

喜茂別川の樹木が繁茂しており、北海道は
柳等を切る工事を発注しており、これが終
わったら、素晴らしい羊蹄山がまた見えるよ
うになるのではないかと思います。

ビューポイントについては、WAOが維持
管理を担っているが、開発局の方にも、整備
していただきたいと要望している。

また、昨年整備した旧浅田呉服店のところ
は第3駐車場として開放して、喜茂別橋から
見る羊蹄、観光スポットである郷の駅に寄っ
てもらえるように配慮してまいりたい。



▲ビューポイント

本久議員

現在、郷の駅でレストランが臨時休業に
なっている理由について把握しているのか。

林町長

今両方とも休業しているが、一つは町内の
飲食店に当たっている状況、チャースタにお
いては、4月に再度オープンできる見通しだ
と聞いている。

本久議員

先の決算特別委員会にて、老朽化した施設
の改修や解体に「ふるさと応援基金を、将来
の建設改良積立金のような形に回していくこ
ともあり得る」と答弁していたが、いつから
取り組むのか。

林町長

後日、私の方で考えて、間違いなく基金に
積んでいく考えである。

本久議員

有害鳥獣処理施設について、農林業被害対策、捕獲個体の適正処理、鹿肉の有効活用など、本町にとって重要な事業であると認識しているが、どのような運営方法を想定しているのか。

林町長

1年おきの契約というのは、やられる方も色々な部分で、戸惑いや投資ができないと思うので、3年から5年が通常期間の指定管理で行いたい。

本久議員

収支の見通しはどのように考えているのか。

林町長

プロポーザルになるので「私の会社では町から一銭もいりません」「私の会社は町から1000万円いただきます」と、色々な意見が出てくると思う。

例えばクリニックのように4千何百万円払いますからやってくださいという話は考えていない。

本久議員

将来的に町の財政負担が継続的に生じるような状況にならないような運営が重要と考えるが、どう考えているのか。

林町長

物価高騰や捕獲頭数の増加などを踏まえ、指定管理の中の利益だけで処理できるのか、できるだけ費用がかからないような方法で、考えていかなければならないと思っている。

一方で、鹿による農業・林業被害も深刻であり、特にトドマツの食害が大きく、なんとか防いでほしいと森林組合の方から言われたので、費用面だけでなく被害対策への町の支援も含めて対応していく。

本久議員

喜茂別町山菜取り等遭難事故防止対策要綱について、現在はインバウンドの増加により多くの旅行者が訪れており、バックカントリーにおける遭難や雪崩による救助事案も増えている。

現在の実情に合わせた見直しを検討する必

要があると思うが、町長の考えを伺う。

林町長

バックカントリーで遭難した場合も想定しながら、今後考えていきたい。

本久議員

外国人とともに生活できる環境整備について、昨年の町づくり懇談会で、ゴミ問題への対応の一環として、外国人住民との交流会を開催していきたいという話を伺ったが、実施されたのか。

林町長

交流会は行っていない。
現在140名近くの外国人が来ているが、どの方々を集めて話していけばいいのか検討しなければならぬ。
ゴミの問題や環境の問題については、これから精査していかなければならないと考えている。

本久議員

昨年総務常任委員会でゴミ問題について話し合い、その後ホームページ上に、ゴミの分別一覧表に英語版が追加されたなど、情報の整備については少し改善されたと感じている。

交流会は実施されていないということだが、個別訪問など直接説明していくような取り組みについて、どのように考えているか。

林町長

2、3年で土地や建物を転売してすぐいなくなるような方もいると聞いているので、とりあえず商工会に加盟している外国人と話をしてみたい。

本久議員

転売のほかに、現在外国人住民が生活する上でどのような課題があると認識しているのか。

林町長

1番認識しているのはゴミの問題である。
それと、除雪の関係で、民泊の方々はわからないので、道路まで出したり、路駐している車もあったので、これから周知していきたい。



阿部議員

カーボンクレジットについて、具体的にはどのような事業か伺いたい。

林町長

真狩村、喜茂別町、留寿都村でJクレジットを販売することを考えている。

阿部議員

LED化整備事業について、昨年は2条通に設置されたが、町民からは好評である。
今年度は停車場通を予定しているが、この事業は今後も継続的に計画されているのか。

林町長

LED化は二酸化炭素抑制であるし、暗いと熊が出てくる可能性も高いから、今後も毎年1000万円単位で継続したい。

阿部議員

町民の防犯意識向上が必要であると考えており、自助・共助・公助のさらなる取り組みの構築を行政と関係機関と連携しながら進める必要があるのではないか。

林町長

役場だけでは被害は防げないので、今は大町で色々な活動していただいているが、他の地区も自主防災に関して、組織だっ行ってほしいと町も要望している。

阿部議員

町立クリニックの存続について、現在、院長、副院長が2拠点を往復しているが体力の限界は目前だと思う。

医師確保における最大のハードルが、千歳空港からの移動であるため、町として支援をすることは将来の無医村化を防ぐために必要な投資ではないか。

林町長

私としては2年、3年の指定管理の延長を求めたが、体力的なものもあり、1年間となっ

たので送り迎えがどのようにできるか、話していきたい。

阿部議員

高収益作物のブロッコリー、絹さや、スナップエンドウなどの生産確保のため、高品質の種子確保の助成なども視野に入れる必要があると思っているが、町長の考え方を伺いたい。

林町長

種代については、ブロッコリーの値段が今いいのかわ、町の方にはまだ要望が来ていないが、今後連作で、病気など出てくるかもしれない。
高収入作物を守っていかなければ農家の収入にはつながっていかないという状況なので、支援できるものは、支援したい。



越後議員

執行方針冒頭で「次の世代につなぐ、安心して暮らせるまちづくりに取り組んできた」とあるが、林町長はどのようなイメージを持っており、そこに向かっていくためには何が必要だと考えるのか。

林町長

高齢者に対しては、除雪をきちんとするということが1つ。

子供たちに対しては、今回も給食の無償化も検討している。

それと夏場の交通量が激しいから、できるだけ交通事故に遭わないため、また防犯も含めて、子供たちや高齢者のために政策を考えていきたい。

越後議員

執行方針に、AIなどの先端技術の進化にも触れているが、そのような技術も積極的に取り入れていくことも検討していくべきだと思うが、林町長はどう考えるか。

林町長

事務がうまく進んでいくのであれば、例えば超過勤務を減らす観点から、必要であれば考えていかなければならない。

その他にどのような活用方法があるのか、若い人方に、勉強しに行ってもらったり研究してもらえればと思っている。

越後議員

先週、本町のスタンドでガソリン194円、灯油価格161円と見たことのない価格になっている。

この厳しい状況を踏まえて、国の動き等を見ながらになると思うが、林町長は今後、町民に対して何か支援等を考えているか。

林町長

即効性があるのは何か、経費がかからないのは何かとなったら、水道・下水道の基本料金減免、合わせて3200円になる。

プレミアム商品券についても、昨年から2000円プラスして5000円で、1世帯3セットで1200セットを販売したい。

越後議員

元気応援課の組織機構を見直すことになっているが、林町長の子育て支援を通じたまちづくりへの思いについて伺いたい。

林町長

子ども家庭センターは、改正児童法により、母子保健と児童福祉の機能が統合されたものを努力目標として設置してほしいということだった。

これだけ人数が少なくなったので、できるだけ小さい時から顔馴染みで仲良く遊ばせて、色々なことを勉強させたいという思いから、前倒しでやらせていただいた。

越後議員

郷の駅エリアについて、駐車場や冬期間は建物が隠れるなどの問題があるにせよ、なかなか有効な活用ができていないように感じているが、町長はどう考えているのか。

林町長

現在、ホッとときもべつの役員は、まだ自分たちで経営はできるという判断であるので、しばらくはその方針を見守ってまいりたい。

あと、入口と駐車場の狭さを解決しなければ、営業利益に繋がっていかないと考えている。

越後議員

中山峠観光施設の活用について、施設が稼働できているうちに、民間に譲渡なりを考える、あるいは、何を残して何を閉じるということも念頭に、今後の計画を立てていくべきだと思うが、林町長はどう考えるか。

林町長

水道施設については2億円ぐらいかかるということだが、向かいの開発局にも水を供給しているの、1番先に直していかなければならない。

ホテル、スキー場については売却できるのであれば売却はしたい。

物産館については維持していかなければならないと思っている。

越後議員

昨年、クレードルがコープさっぽろによって6億円かけて大掛かりに設備投資されたが、農家含めて、コープさっぽろとの連携強化は昨年からのように進んでいるのか。

林町長

外国人労働者の住むところを確保したいということなので、5人、6人住めるような一軒家、何か所か町でも持っているの、支援してまいりたい。

あと、今力を入れているのはスイートコーンで、農家のハーベスターがもう古くなってきて、コープさっぽろがこれから10年も20年も買ってくれるのだったら更新したいという話もあるので、農家の方々にいくらか支出してまいりたい。

越後議員

有害鳥獣処理施設建設事業について、今回予算全体を見た中で、金額で言えば、最大の目玉政策であると思う。

この施設を建てた後、具体的にどのような効果があり、本町にどのような好循環を生み出すのか、そして最終的にはどのような未来を考えているのか、改めて伺いたい。

林町長

農作物の被害の他にかなり森林被害にあっているの、Jクレジットや色々な脱炭素の関係で、はかり知れない効果がある施設だと考えている。

まして、産業廃棄物の料金がますます上がってきているので、これが500頭から600頭、700頭になったら、経費の抑制はできると思う。

ジビエ料理に関しては、ニセコやルスツだとか、これだけ外国人の方々が来ているので、販売するには1番適していると思っている。

本町の地場産業であると認識しており、ふるさと納税も伸びているので、いかしてまいりたい。

越後議員

指定管理という考えだと伺っているが、指定管理者の方々もきちんとした覚悟を持ってやっていただきたいと思うがどうか。

林町長

指定管理は1度契約したら「今年は赤字になったから、指定管理料追加してください」という話にはならないので、それぐらいの覚悟を持ってやらないといけないというのが、私の考えである。

越後議員

林業関係について、現在木材の価格としては、複合的なコスト高の影響で依然として高止まりが続いていると聞いている。

本町で売却できる木材や土地があれば、売却していくことも検討できないのか。

林町長

町が売れるような山は比羅岡にあるが、Jクレジットの対象になっている。

売れるから伐ればいいという話ではなく、その辺は考えていきたい。

越後議員

高規格救急自動車の更新について、現在、寄贈に対しての申し込みの準備が進められており、結果は7月ぐらいまでに出ると聞いている。

寄贈が当たる当たらないを抜きにして、早急に、前向きに検討していただきたいと思っているが、町長の考えを伺いたい。

林町長

本町が当たらない場合であっても、1年間通すと20万キロの限界を超えるので、過疎債を使って独自で購入しなければならない。

越後議員

留寿都との負担額についての考えを伺いたい。

林町長

ルスツリゾートでの怪我が多くなって、本町の救急車の出動回数の6割ぐらい留寿都関係になってきている。

留寿都村に、私からも要望していくので、消防議会としても、できるだけ応援していただきたい。

越後議員

旧中学校エリア、壊すだけだと認識しているが、解体するとなれば、望岳寮、住宅も含めて多くの費用がかかる。

現在のニセコエリア・ルスツエリアの好景気に便乗して、積極的に民間資本で後押ししてもらう道を選ぶ方が、スピード感もあり、本町の活性化につながりやすいと思うが、町長の考えを伺う。

林町長

外国の方々が買ってしまわないかという懸念があるから、なかなか決断ができないが、民間が解体して、例えば寮を建てたいという話があれば、解体費を出さなくて済む。

建物ができて人口が増えるのであればいい話なので、できるだけ色々なところに目と耳を傾けながら進めていきたい。

越後議員

本町でも、小中一貫教育を推進していると執行方針に書いているが、細田教育長は、来年6月で任期満了を迎えるので、思いを伺いたい。

細田教育長

今年の執行方針の中で、初めて小中一貫教育の推進を方向性として示した。

義務教育全体の質の向上を目指す重要な取り組みと捉えている。

教育委員会は合議制の執行機関なので、教育長が変わったとしても方向性は変わらない。



やました じゅん
山下 純議員

山下議員

町政基本方針の第1が、「子供たちの幸せを大切にします」とあるが、残念ながら、本町の子供は着実に減っている。

多くの議員がこの件については質問しており、企業の誘致や宅地の整備などの答弁をいただいたが、結果は出ていない。

結婚支援、不妊治療支援、保育所給食無償化、町営住宅整備、みなし特定公共賃貸住宅拡大など、できることはまだまだあるように思う。

町長の少子化対策についての考えを改めて伺いたい。

林町長

本町には、働く場所がなく、土地に関しても大地主が多く、現在切り売りしているところもなく、この辺を解決していかなければならない。

子供対策については、令和7年度は給食費の半額を、令和8年度は全額無償化し、次は、保育所の料金と給食費だと思っている。

今後も自然や空いている施設を生かして、企業誘致して、人口増加と子育て世帯に対して支援をしていければと考えている。

山下議員

仮に、本町に働く場所がなくても、留寿都、倶知安、ニセコなどで働くことが可能である。

また、新築する場所がなくとも、既に本町にある町営住宅のルールを緩和して、より多くの方に使っていただけるようにするなど、できることはあると私は思っているが、町営住宅の有効活用についてはどう考えるか。

林町長

公営住宅は、公営住宅法にのっとり所得制限があり、町独自で変えることができない。

町営住宅や教職員住宅等にも空きはあるが、修理して住むためには、相当の費用がかかる。

山下議員

有害鳥獣処理施設建設事業について、1つ懸念しているのが一部のハンターへの負担の集中である。

現在、一部のハンターが突出して捕獲しているが、怪我や病気、その他の理由で狩猟ができなくなると、捕獲量が急減することが想定される。

ガバメントハンターを含めて、より安定して鹿を捕獲できる体制を構築する必要があると思うが、どのように考えているか。

林町長

今、1名の方に頼っている状況であるので、本町の職員の中から、猟銃の免許を取りたいとか研修に行きたいという者がいたら、町として費用を負担して積極的に取り組んでいかなければいけない課題だと思っている。

山下議員

執行方針に「今後も地域公共交通活性化協議会のご意見をいただき、地域の交通の確保に努めてまいります」とある。

しかし、最後に集まったのが1年以上前で、その際は、自宅から出発できるデマンドバスの実証実験を予定しているという内容だったが、その後、意見を聞く場も開かれないうまま、バス停方式へと変更された。

そして、昨年5月から7月まで実証実験を行ったはずだが、その結果について、未だに報告がない。

これではあまりに説得力に欠けると思うが、町長はどのように考えているのか。

林町長

私の方も認識不足であったので、できるだけ早い機会に、予約型デマンドバスの運行について、再度協議会の方に図っていききたい。

山下議員

2月24日に開催された、地域活性起業人活動報告で、住民の最大のニーズが移動手段であるとされたにも関わらず、まちづくり懇談会で実証実験の結果は1名のみの利用だったと報告を受けた。

これはよほど実証実験のやり方に問題があったのではないかと考えているが、どういった移動手段の確保がいいのか、町長の考えを伺いたい。

林町長

実証実験で多く乗られる方が1名しかいないということは、実証実験にもなっていないのではないかと話になる。

ただ、実証実験でそれだけ必要がないという認識があったことも事実なので、デマンド型のこの運行は、いらぬのではないかとということも考えられる。

どのようにすれば登録が増えて、実際に乗っていただけるのか、検討してまいりたい。

山下議員

旧鈴川小学校校舎を含めた関連施設の利活用について、複数の提案がされているという話も聞くが、閉校してあっという間に1年が経過した。

このまま2年、3年経ってしまわないか非常に心配だが、いつ頃までに結論を出したいと考えているのか。

林町長

本町が2億4000万円を持ち出して、加森観光がグラウンドを含めて活用したいという提案が来ている。

他に、エビの養殖や野菜水耕栽培の提案が来ているが、書類、図面、設計段階で来ているのは加森観光だけである。

建物は痛んでくるのでこの1年間で、検討していききたい。



いへべ つよし
岩部 剛議員

岩部議員

予算編成で特に大変だった点、また力を注いだ点など、予算編成全般に関する町長の考え方を伺いたい。

林町長

7000万円程度、財政調整基金を崩した中で予算設定行いたいと思っていたが、約1億円取り崩した。

ただ、これは町民に還元されて、また消費や会社の経営に使っていただけと思っている。

岩部議員

全国で熊の出没が増えているが、本町としてはどのような対策をするのか。

林町長

今回、緊急に北海道に要望して、小学校の河川公園のあたり、木を伐採してもらおう。

また、街路灯を整備し、ハンターの支援をしていきたい。

岩部議員

元の鈴川小学校の教頭先生の住宅が2年間空き家になっているが、何度か鈴川に住みたいという人の話も耳にしており、有効に活用していただきたいが、町長の考えを伺う。

林町長

地域でも活用できると考えている。



きくち みつお
菊地 光男議員

菊地議員

元気応援課を保健福祉課に改称し、保育所業務を教育委員会から移管することになった。

幼稚園のない本町にとって、教育委員会が保育所業務を担うことで、保育を主とした内容から1歩進んだ幼児教育的な取り組みとなっている姿を見て、大変意義があると思っていた。

これまで教育委員会が保育所業務を担ってきたことについての検証と、今後の幼児教育における小学校との関わりについてどのように考えているのか、教育長に伺いたい。

細田教育長

これまで教育委員会で保育所を所管していた間に、全体計画づくりをして、幼児教育の位置づけが明確にされ、保育所から小学校への接続という部分もきちんと確立された。

今後、所管が移行されたとしても、ないがしろになるということはない。

菊地議員

やはりこの仕掛けは、教育委員会が担うべ

きである。
その辺も含めて、具体的な取り組み等についてどのようなことを考えているのか。

細田教育長

小学校側では、環境の違いにまず慣れてもらおうということで、スタートからカリキュラムを作っており、保育所側でも、保育所版のカリキュラムを今策定中である。

菊地議員

私は歴代の町長に、相川墓地の環境整備と将来的展望に立った整備計画について、隣町の墓地整備の状況等を例に挙げて、質問しているが、明快な回答をいただいている。

そこで、今後における整備のあり方と整備計画の関係について、林町長にも改めて伺いたい。

林町長

取り付け道路については、早急に解決しなければならない問題と考えており、民有地であるので、町の方で買収できるか令和8年度において進めてまいりたい。

菊地議員

定住促進条例スタート時点では、定住促進事業として1つにまとめられ、非常に見やすかった。

ただ、現在は、バラバラに予算計上されどそれが定住促進なのか、非常に見づらい。

今後において、この計上の在り方がいいのか悪いのか含めて、考え方を伺いたい。

林町長

今、システムは1つになっているので、令和9年度は、申請については各課で受けるが、予算は1つの科目とする。



小川議員

本年は林町長にとっては任期の折り返しの年となるが、町長が念頭に置いている「次の世代につなぐ安心して暮らせるまちづくり」に関して、今時点でどれくらい達成している

と考えているか。

林町長

私が就任した時に、目的基金含め約6億4500万円であったが、8億5000万円ほどになる状況である。

次の世代につなぐためには、ある程度のお金がないと事業ができない。

財政調整基金が6億円、目的基金を合わせて10億円が最低のラインとっており、道半ばという考えである。

小川議員

郷の駅の駐車場の入口を勘違いして逆走してくる車に実際に私もこの間遭遇した。

今の状況は執行方針に書かれている利用者が使いやすい観光拠点施設とは決して言えない状況だと私は思うが、どのように評価しているか。

林町長

蜂の巣の辺りから、ギリギリ入れるのではないかとこの考えもあるが、警察の公安局と開発局に確認したい。

一方、出口で右折して札幌に行こうとした時に、停車場線から来る車がたくさんいて、何台も右折して札幌に行けない。

私としては、この2つの改修に向かって進めていかないと、今の郷の駅の営業がスムーズにいかないのではないかと考えている。

小川議員

有害鳥獣処理建設事業に関して、建築資材高騰等の影響を受けて、当初の予想額よりも建設費用が高くなるとの説明を受けているが、この事業にかかる町長の思いを改めて伺いたい。

林町長

7000万円が私の限界であったが、担当部局、猟友会、議員の皆様方と話して、どれだけ農業被害、林業被害が大切であるか、一般財源使っても、やるべきだという話であった。

今1億2000万円だが、イランの戦争で、もしこれが1億4000万円になっても、まだ残っている森林環境譲与税、過疎債を多くして、令和8年度には建てて9年度には稼働できるようなスタイルでいきたい。

小川議員

地域おこし協力隊について、私が協力隊で活動していた時は、マネージャーがいたが、現在の町と協力隊員のコミュニケーションの取り方についてはどのように考えているのか。

林町長

昔に比べ、マネージャーがいらないから、なかなかコミュニケーションが取れていないというのが私の感想である。

小川議員

遅い時間、道南バスの停留場の中で、外国人のみならず、時に日本人も混じって騒いでいる方が見受けられる。

放置すれば騒音問題や治安悪化につながるかと懸念しているが、対策は考えているか。

林町長

バス停は、飲み食いして騒ぐところではないので、適時注意して、英語できちんと表記し、警察に要望していきたい。

小川議員

ふるさと応援基金などを利用して、保育所でのご飯を無償化する考えは教育長にはないのか。

細田教育長

優先して義務教育部分の無償化を行う。



日下議員

小中一貫教育の推進について、昨年から本年までどのような協議、取り組みをされていたのか。

細田教育長

斜里町立知床学園、比布中央学校で研修を行い、岩内中央学園で視察を実施した。

協議としては、5年間のロードマップで1年目で検証を行わなければならないということで、この課題と実態の取りまとめをした上

で計画を作っていかなければならないので、その整理をした。

また、これまで学校それぞれで作っていた学校のランドデザインを小中1つのものにして共通のランドデザインを立てた。

日下議員

5カ年計画の中で、ある程度状況を見ながら小中一貫校についての議論を深めていくということだが、令和12年中にはということによろしいか。

細田教育長

5年のロードマップでは、1年目現状分析で実態把握と課題整理をするが、2年目で方向性を決定づけられると思っている。

日下議員

昨年、林町長から、小中一貫校を行うことが望ましいという答弁をいただいたが、現在の町長の考え方についてお聞きしたい。

林町長

やるべきだと思っている。

日下議員

小学校で複式学級にするということだが、中学校においても複式学級はあり得るのか。

細田教育長

中学校は2学年合計8人以下が基準である。

日下議員

何年後にどうなる予想を立てているのか。

細田教育長

まず、令和8年度で一部複式学級でき、2年後解消するが次の令和10年度にはまた違う学年で複式学級ができるので、6年続いて一部複式学級ができるという見込みである。

日下議員

複式学級の弊害についてどう考えているか。

細田教育長

複式学級の特長としては、児童の自学力を要する時間が増える、異学年のリーダーシップ、支え合いが育つ。

反面、人数が多いと管理が非常に難しい、学習指導の質の確保が難しい、学習環境に差が生じる可能性がある、教員の負担が過重になりやすい、団体で行う競技や合唱に制限が生じる。

日下議員

小中一貫校の弊害はないのか。

細田教育長

学校の小規模化も1つの目的で、それをカバーするために、ある程度の数を確保していくという考え方もあるので、デメリットというよりも、その数の少なさをメリットに変えるという考えの方が重要と思っている。

日下議員

あまりに人数が減った時、複数自治体による学校運営が、羊蹄山麓で将来的には必要になると思っているが、それも踏まえた上で考えるのか。

細田教育長

羊蹄山麓の小学校で複式学級が発生したのは本町だけなので、10年以内は、ほかの町村と学校運営をする状況は出てこないと思っている。

どこのことを考えてこれから学校運営するのかということだと思うが、将来空き教室が出て、今の子どもたちが学ぶ環境にないものを作っても意味がないと考えている。

林町長

留寿都に新しいのができたから喜茂別や真狩が行くという考えは、各町村長の中にはない。

今後、複式学級が続いていく中で、小中一貫校がいいのか、公設の学習塾で、1人先生を置いて、個別に指導する方策もある。

一概にすぐ小中一貫校にするべきだという主張ではない。

日下議員

令和7年度の執行方針では、国道230号のトンネルなどの線形改良について国に要望すると触れられていたが、なぜ今年の執行方針から消えているのか。

林町長

トンネル化は今も要望しており、あえてト

ンネルをこれからやらなくてもいいという気持ちで執行方針を書いたつもりではない。

日下議員

町長の執行方針に落とし込まないと町民も僕らも理解できず、消極的になったというふうにしか判断できないが、来年はどうするのか。

林町長

しっかり明記したい。

日下議員

教育委員会で、毎年色々な事業を評価して継続か終了か判断しているが、統一してそんな検証を各課でやるべきだと思う。

昨年決算委員会で、同じ質問をしたら、必要だと思うと答弁していたが、いつからそういう検証した上で、予算編成に当たられるのか、来年度予算なのか。

林町長

副町長もできたので、実力を示してもらうためにも、そのような事業の効果があつたかどうかを、来年に向かってきちんと精査して、決算の時にも説明できるようにする。

日下議員

新年度予算にはまだ、老朽化した施設のための基金も置かれていないし、積み立てる予算上の措置もされていないように思うが、どのタイミングで、基金を設立して積んでいけるのか。

また、最終目標基金総額で10億円を目指すとやっているが、その基金も含んでいるのか。

林町長

ふるさと納税が今回約2億円ぐらい集まり、このうち、1億円ぐらいが、ふるさと応援基金に積まされたので、この中で何千万円かは、新たな基金に積み立てるのではなく、公共施設整備基金に積んでいく。

日下議員

町長が先ほど10億貯めると言ったのは、何年先を考えているか。

林町長

任期で考えているので2年である。

予算特別委員会

3月17日

令和8年度喜茂別町一般会計予算について

本久委員

放課後児童クラブの利用児童数と対象学年は。

小熊保育所長

令和7年は30名程度であり、1年生から3年生までを基本としているが、人数に余裕があるため4年生まで、支援を必要とする児童も利用している。

本久委員

利用料は月額5000円、住民税非課税世帯は2000円、ひとり親世帯および障害者のいる世帯は4000円という認識でよいか。

小熊保育所長

そのとおりである。

本久委員

長期休業期間の利用時間はどのようになっているのか。

小熊保育所長

9時から18時半までとなっている。

本久委員

近隣町村の料金体系についてどのように把握しているのか。

小熊保育所長

無償が1件、同様の設定が1件、本町より低い金額が2件ある。

本久委員

保護者から利用料や利用時間について意見や要望はあるのか。

小熊保育所長

ニーズ調査を毎年行っており、利用料についてももう少し安くないかという意見がある。

本久委員

日割りや利用時間についての要望はあるのか。

小熊保育所長

長期休業期間については、もう少し早い時間の要望があり検討している。

利用料についても平成17年から変わっていないため見直しを考えている。

本久委員

利用料については、世帯の子どもの人数による負担を考慮すべきと考えるが、利用料の軽減制度についてどのように考えるのか。

河田副町長

複数児童の世帯で減額している町村もあり、そうした点も含めて見直しを検討していく。

林町長

見直しが必要な案件と認識しており、早急に見直しについて詰めていきたいと考えている。

本久委員

建物貸付収入について、中山峠の施設や郷の駅の賃貸収入と認識しているが、他にどのような賃貸収入があるのか。

大元総務課長

総務課の普通住宅、まちづくり振興課の地域振興センター、中山峠観光施設、郷の駅、元気応援課のすこやか住宅である。

本久委員

公共施設低濃度PCB含有量調査を行うに至った背景を伺う。

大元総務課長

法律の規制により令和9年3月31日が処分期限となっていることから予算を計上した。

今回は学校施設2校、農村環境改善センター、ふれあい福祉センター、健康増進センターの5施設の調査を行う。

本久委員

5施設の調査とのことだが、見つかった場合の処理費用はどの程度見込んでいるのか。

大元総務課長

当初予算では計上しておらず、結果を見て積算し補正予算で提案する。

本久委員

見つかった場合は施設の更新が必要になるのか。

大元総務課長

変圧器やコンデンサーなどの部品を処分し、新たなものに取り替える形となる。



▲変圧器

本久委員

イベント用テントの購入について、財源はどのようなものを充てているのか。

井原まちづくり振興課長

ふるさと応援寄付金を見込んでいます。

本久委員

テント本体のみを購入する認識でよいのか。

井原まちづくり振興課長

骨組みのほか、テント、重し、横幕を購入する。

本久委員

軽量のテントで使いやすくと認識しているが、既存のテントはどのように扱うのか。

井原まちづくり振興課長

古くなったテントは処分も考えているが、焼肉やビアガーデンなどで使用するなど工夫しながら対応していく。

本久委員

マイナンバーカードの普及率は現在どの程度か。

河田副町長

令和8年2月末現在、人口に対する発行枚数の割合では統計上100%となっているが、全員が申請しているかどうかは不明である。

本久委員

行政手続のオンライン化について、本町ではどの程度オンラインで可能となっているのか。

河田副町長

暗証番号の設定などにより個人差がある。

本久委員

書かない窓口やお悔やみ窓口などの取り組みについて、本町としてどのように考えているのか。

河田副町長

システムの費用、職員の能力、人口規模に対してどれだけ効果的かを研究していく必要がある。

林町長

人口規模や高齢者への対応を考えると、職員が直接教えるなど、町民と触れ合う役場であることが重要と考えている。

現時点で導入する考えではなく、職員が名前を覚え、町民と触れ合うことを大切にしたいと考えている。

本久委員

トレーニング室の利用状況について、全体として利用人数はどの程度か。

菊池元気応援課長

概ね熱心なリピーターの方が10名程度である。

本久委員

機器が使えなくなった場合の処分はどのように考えているのか。

菊池元気応援課長

基本的には廃棄で考えている。

本久委員

公共施設整備基金条例は、整備及び維持に関する経費に限るとされており、解体費の積み立てには使用できないのではないかと。

林町長

条文上は整備及び維持に関する経費となっており、文言だけで見れば解体費にはあてられない認識である。

今後、条例の改正も含めて考えていく。

本久委員

解体費を積み立てる場合、条例改正か新たな基金条例が必要になると考えるが、どちらを予定しているのか。

林町長

そういうことも考えないといけない。

本久委員

観光トイレの管理業務委託料を除いた中山峠の費用について、今年度は賃貸料収入を上回ることはないという認識でよいか。

井原まちづくり振興課長

当初予算の段階では、上回る見込みはない。

本久委員

高原ホテルは1階部分のみ使用していると聞いているが、どのような機能を果たしているのか。

井原まちづくり振興課長

スキーシーズンにおいて、ロッジ、レストラン、トイレの機能となっている。

本久委員

住宅管理費の修繕料780万円について、何部屋程度の修繕を予定しているのか。

酒井建設課長

令和8年度は緑町団地の3部屋を優先的に修繕する。

本久委員

特定公共賃貸住宅に空きはあるのか。

酒井建設課長

現在、空き部屋はない。

本久委員

公営住宅は公営住宅法に基づき条件を満たした方のみ入居できる制度という認識でよいか。

酒井建設課長

間違いはない。

本久委員

入居に関する問い合わせや相談はどの程度あるのか。

酒井建設課長

現在、入居希望者からの問い合わせはない。

本久委員

スキー授業の利用料について、リフト券の値上がりの影響があったのか。

秋山教育次長

学校での授業というものも勘案していただき、小学校1人1800円、中学校2100円で使わせていただいている。

越後委員

ふるさと納税の返礼品について、今どの商品が伸びているか。

井原まちづくり振興課長

豚肉が伸びている。

越後委員

返礼品の数が追いついていないとも聞いているが、解決に向けて、町の支援を含めた考え方を伺いたい。

井原まちづくり振興課長

まだ本町に眠っている返礼品があると思うので、新規開拓に取り組み、また、開発改良している事業者に対し支援に努めている。

越後委員

水の郷きもべつまちづくり振興基金というのは、町民もどのようなものか分からないので、ざっくりどのような基金かを聞きたい。

井原まちづくり振興課長

基金の目的は、本町の歴史的資源を次代に引き継ぐとともに、町民が自ら考えて行う福祉、観光、地域づくり活動の促進と、快適な生活環境の形成等図るためとなっている。

これまで活用された例としては、各地区にある施設の改修等に充てられている。

越後委員

原子力防災資機材及び施設整備基金積立金について、毎年積立てられ、1500万円近くになっているが、活用方法について伺いたい。

井原まちづくり振興課長

目的としては、原子力防災活動に必要な資機材等の整備等推進するためであり、過去に、発電機を購入した際にこの基金を当てた。

今後、災害の備えとして、備蓄品とか、防災設備の改修などが想定される。

越後委員

防犯灯LED化整備工事について、継続事業だが、今回はどこを整備して、今後どのような流れで、どのように整備して行くのか。

大元総務課長

令和8年度については、役場前の通りを国道から大町の住宅のきれるところまでを整備する予定である。

令和9年度以降については、現在、緑町、旭町、大町の一部などを考えている。

越後委員

犯罪率を調べたが、暗い場所はものすごく上がるので、明るくしていただきたい。

あと、本町は防犯カメラ等が少ないので、何か所か設置したらいいと思うが、そちらに

関してはどうか。

林町長

町の皆さんの認知と許可がないとつけられないが、今後検討しなければいけない。

越後委員

保育所前歩道用防護柵設置工事は、どのような柵がどう設置されるのか。

菅原住民課長補佐

高さ80cm、長さ2mの丸格子フェンスを3基、横幅6m設置する計画で、必要に応じて取り外しができるものを予定している。

越後委員

以前から、一般質問等で、保育所の左のグラウンドまでの間、そして右側駐車場まで最終的にはやっていただきたいと話をしているが、どのように考えているか。

河田副町長

予算の状況を見ながら、そして今年設置した状況を見ながら、今後どのようにして行くか考えていきたい。

越後委員

新しく防犯対策事業補助金20万円が計上されたが、どういった補助金なのか。

菅原住民課長補佐

補助の対象は、住宅等で行う防犯対策で、具体例としては、防犯カメラ、屋外人感センサーライト、モニター付きインターホン等を想定しており、購入費用の2分の1を補助し、一世帯当たりの上限額は1万円としている。

越後委員

どのような周知をしていくのか。

菅原住民課長補佐

町のホームページ、広報誌、回覧板ほか、必要に応じて窓口での案内も行う予定である。

越後委員

障害者福祉サービス費が昨年より1000万円近く増加している要因を伺いたい。

菊地元気応援課長

令和7年の実績を踏まえて8年度で増額計上させていただいた。

越後委員

保育所職員室のエアコン設置を検討して行く段階に来ていると思うが、どう考えているか。

河田副町長

財政状況を見ながら、費用対効果で、優先度の高いものから予算化している状況で、色々と検討しながら、予算を作っていきたい。

越後委員

緊急銃猟用備品91万円計上されているが、どのような備品を購入するのか。

齊藤農林課長

トランシーバー、照明器具、ビデオカメラ、シールドなどを予定している。

越後委員

銃猟者育成助成金25万円計上されているが、銃猟免許取得等にかかる経費ということでよろしいか。

齊藤農林課長

狩猟免許や、鉄砲所持許可を取得した方に対して、取得費の一部を助成するものである。

越後委員

4月より、52年ぶりにブロッコリーが国の指定野菜に追加されるが、本町として、今後の支援などを含めて何か考えているのか。

齊藤農林課長

J Aや生産部会の方々と連携を密にして、適切な支援をできるよう体制を整えていきたい。

越後委員

例年春には、道路のあちらこちらに穴があくので、本格的な道路工事も必要ではないかと思うが、どのように考えているか。

酒井建設課長

本格的な改修となると、工事費が多額になってしまうため、舗装の修繕で対応可能なうちは修繕で対応していきたい。

ただ、部分的な補修で、対応できなくなってきている場合については、今年度予算計上させていただいている比羅岡1号線や喜茂別留産線のように、面的な補修等を行って、長寿命化を図っていきたい。

越後委員

子育て支援について、元気応援課が課の名前を変更して、教育委員会から保育所を移管するが、どのような効果が期待できるのか。

菊地元気応援課長

保育所については、子育て支援を推進していくという目的で、今年1月6日に開設したこども家庭センターの機能を組織として最大化して行くという狙いの中で統合した。

阿部委員

ふるさと応援基金事業について、今年度は2億円の予算が計上されているが、令和6年度は9000万円で、2倍以上の実績について、どのような変化または経緯があったのか。

井原まちづくり振興課長

返礼品提供事業者による既存商品のラベルや、機材の更新など意欲が感じられた。

一方で、季節便、定期便、コンシェルジュ商品といった返礼品の数を増やした。

また、返礼品の入数のバリエーションを工夫して、寄付をしやすくした。

インターネットサイト上では、検索した時に見つけやすくするような対策とか、現地に赴いて写真をリニューアルしたり、商品の説明やキーワードの文言などを工夫した。

阿部委員

本年度、鳥獣処理施設が建設されることから、ジビエハンバーグなどの品物が必要ではないかと思うがどうか。

井原まちづくり振興課長

鹿肉は、ジャーキー、ブロック肉のほかにペット用の肉、あと今後、鹿の角アクセサリー

とかも工夫して、返礼品の拡充に努めたい。



▲有害鳥獣処理施設イメージ図

阿部委員

地域交通事業について、四半期ごとの検証がされているのか、または検証の結果、改善工夫などされたのか。

井原まちづくり振興課長

ウサパラ号については、これまで長らくデマンドの部分について求められてきた。

実証実験を行ったが、登録者数5名で、人数が思うように伸びなかったため、8年度の中で協議会の意見をいただきながら進めていきたい。

阿部委員

ウサパラ号の時刻表と同時に記載するのではなく、デマンド独自のパンフレットで、高齢者の方に周知できると思うが、どのように考えているか。

井原まちづくり振興課長

確かにこれまで時刻表に合わせていたもので、新年度は時刻表と別個に周知したい。

阿部委員

地域おこし協力隊活動支援事業で、3147万円が計上されているが、これは具体的にはどのような事業なのか。

井原まちづくり振興課長

協力隊にかかる委託料、サポート団体に対する負担金、活動補助金、起業支援補助金などを計上している。

阿部委員

鳥獣被害防止対策協議会補助金で、631万6000円が計上されているが、鹿1頭捕獲す

ると本町から8000円の補助金で対応していると以前聞かされた経緯があるが、この事業はこれに該当するのか。

齊藤農林課長

該当する事業であり、国の交付金と町からのこの補助金を含め、1万5000円を報償費として、各ハンターに支払いをしている。

阿部委員

昨年は市街地、栄地区などにクマが頻繁に出没したが、本町には箱罠が何基あるのか。

齊藤農林課長

3基保持している。

阿部委員

箱罠を使うことが有効と報道されており、増設する必要があると思っているが、国、道の補助金の対象になるのか。

齊藤農林課長

昨年来すごく国の動きがあり、従来からの農林水産省の助成と、現在は環境省でも箱罠の助成制度ができてきている。

阿部委員

早急に補助事業を活用して増設していただきたいと思うが、どのように考えているか。

齊藤農林課長

過去に3基同時に使ったことがないことと、箱罠を設置することは中に餌を置くので熊を引き寄せる危険性もあること。

この2点で、令和8年度予算で箱罠の作成費に関しては予算計上していない。

阿部委員

本年度防災訓練について計画されているのか、されているとすればどのような規模で実施するのか。

花岡防災監

4つの防災訓練を予定している。

たとえば、6月25日に、大町第2自主防災組織と役場職員との協働による避難行動要支援者の個別避難訓練や、陸上自衛隊の車両による緊急輸送訓練などを実施する予定である。

阿部委員

保存食が何食、何種類のものがあるのか、また、防災器具はどのようなものがあるのか。

花岡防災監

非常用食糧は、スイートコーン缶240食、卵スープ1050食、梅粥200食など。

防災器具は、大型発電機3基、分電盤2基、送電ケーブル一式を保有している。

岩部委員

後志広域連合負担金が、今回100万円ほど増の457万7000円になっている理由を伺う。

大元総務課長

広域連合の事務局の方でかかる経費を市町村ごとで按分された結果になっている。

岩部委員

情報通信システム整備業務委託料の詳細を伺う。

井原まちづくり振興課長

IP告知端末システムが、令和9年度末で耐用年数を迎えることから、各世帯にあるテレビに切り替える。

岩部委員

テレビがない方は、利用できないという考えか。

井原まちづくり振興課長

スマートフォンの、JCスマートというアプリで見られるようになっている。

テレビとスマートフォンを活用した情報通信網の構築を検討している。

岩部委員

地域振興費の需用費で、消耗品費が例年5から7万円で推移していたが、8年度予算では156万5千円となっているので詳細を伺う。

竹田まちづくり振興係長

ふるさと納税にかかる経費で、リピーター対策としてパンフレットの発行などを想定している。

岩部委員

Jアラートシステム更新の日程を伺う。

花岡防災監

機器を4月に発注した場合、新型アンテナの納期が6ヶ月後の10月中旬となり、その後構築して運用開始は11月中旬を想定している。

岩部委員

食品製造販売事業者経営継続支援金100万円について詳細を伺う。

井原まちづくり振興課長

食品製造で缶詰や、農産物の冷凍を請け負っている事業所に対して支援する。

岩部委員

喜茂別町戦没者遺族会補助金が6万円ほどあったが、令和8年度はないのか伺う。

菊地元気応援課長

戦没者遺族会については、皆さん高齢化に伴い後継者がいないということで、7年度末をもって会を閉じることになっている。

岩部委員

老人福祉費の委託料が、前年度予算より192万円減の548万1千円となっているが、減額した理由を伺う。

菊地元気応援課長

配食サービスの部分で、今まで本町までの配送は、コープに委託していて、到着した弁当の戸配は、愛和の里に委託していた。

令和8年度は事業を見直し、ご高齢の方の見守りサービスの一面もあるので、愛和の里から社会福祉協議会に委託することとした。

岩部委員

夏まつり実行委員会の補助金が、今年50万円増額の200万円になっている理由を伺う。

井原まちづくり振興課長

さらなる補助金の効果を考慮し、50万円の増額をした。

菊地委員

人口は減少傾向で高齢化が進んでおり、法人数も減少していることから、町税が上がる要素はあまり感じないにもかかわらず、近年、若干上がっているが、どのように分析しておられるのか。

菅原税務室長

個人では課税所得が一定以上上昇していること、法人では業績が向上している企業が見られることに加え、小規模法人の増加などもあり法人数は減少していないため、全体として比較的落ち着いた推移となっているものと分析している。

菊地委員

物価高騰対策事業について、執行残が発生すると当然返還となると思うが、有効活用できるような事業執行体制を期待しているが、その関係について答弁いただきたい。

林町長

今回、5ヶ月間水道下水道料金減免するが、世帯が減った場合、余った部分については秋口にあるプレミアム商品券にプラスするような考えで進めていきたい。

菊地委員

お客さんが入っている道の駅は、買いたいと思うものがあるが、郷の駅については、農家が規格外品を買ってくれればいいという感覚がある。

農林課の職員が、農家に行って、是非郷の駅に売れるものを提供してくれと言うような取り組みが必要ではないかと思っているが、担当課長の決意を聞きたい。

齊藤農林課長

まずは、運営会社がいることなので、そこから投げかけがあれば、今役場で持っているパイプを周知することは可能かと思う。

小川委員

I P 告知端末機が令和9年度で更新時期が迫ってきて、それに代わる形でテレビやスマートフォンアプリをという話だが、テレビもスマートフォンも持っていない方に対して

の対応はできないという認識でよろしいか。

井原まちづくり振興課長

そういう世帯の配慮についても、並行して考えて参りたい。

小川委員

地域おこし協力隊の募集業務委託料の内容を伺いたい。

井原まちづくり振興課長

移住相談、受付、打ち合わせ会議、移住希望者から問い合わせがあった場合の関係機関のマッチング、移住希望者が必要とする情報の管理、移住相談イベントへの参加。

8年度については、新たに追加業務として、地域おこし協力隊活動報告会を実施していただく。

小川委員

イベント用テント250万円計上されているが、何張購入するのか。

井原まちづくり振興課長

4張を考えている。

小川委員

交通安全指導員の報酬、昨年から227円上がっていて、なおかつ、人数が6人から4人に減っているが、これは何か理由があるのか。

菅原住民課長補佐

1名は交通安全推進委員会の委員となったため、もう1名は任期満了となっている。

単価は町の労務単価改定に基づいている。

小川委員

北海道の最低時給1075円に対して1596円というのは高額だと思うが、どうお考えか。

土生総務係主査

交通安全指導員は、労務職B単価というものを採用しており、そちらの給与月額が12月の改定によって25万9900円となっている。

それを21日で除した金額が日額になるので、7.75で割り返した金額が時給の単価となる。

小川委員

Jアラート更新業務委託料1745万円とあるが、次の更新は何年後になるのか、その時も今回と同等の額がかかるのか。

花岡防災監

今回は、国から令和8年度までのJアラートのアンテナ分離を示されたが、今回のことは分かっている。

小川委員

保育所の調理室空調設備はいつ頃設置される予定なのか。

小熊保育所長

夏場に向けてなので、6月7月までには予定を立てている。

小川委員

近年猛暑が続いて、クーラーの設置業者の方も大変混み合うと思うが、時期がずれるとかそういう懸念はないのか。

林町長

クーラー使う時期になったら、本当に業者も忙しい、物もない。

4月になったら発注して、早急に手配しなければ間に合わないと思っている。

小川委員

鳥獣被害防止対策協議会の補助金が、昨年より130万円ほど上がっている理由は。

齊藤農林課長

鹿の捕獲数が増えて、ハンターに払っている報奨金が増えたので、令和7年度の補正予算の状況を見ながら計上した。

小川委員

住宅取得促進補助金と住宅リフォームの支援補助金がそれぞれ、昨年度に比べ大きく下がっているが、令和7年度の申込件数の実績を考慮して下がっているという認識でよいか。

酒井建設課長

近年の実績を踏まえ、当初予算上は、住宅

取得促進補助金は1件、リフォーム支援補助金は2件計上している。

日下委員

地域おこし協力隊募集業務委託料はいくらか、見積もった金額を教えてください。

井原まちづくり振興課長

300万円を計上している。

日下委員

協力隊募集業務委託はどのような方法で相手方を決めておられるのか。

大元総務課長

随意契約で執行している。

日下委員

300万円の委託料で随意契約にした理由についてお知らせ願いたい。

大元総務課長

地域おこし協力隊の募集に携わった実績を有し、また地域の情報を、広く道内外に発信することで、本町と移住希望者をマッチングさせるノウハウを持っていることから、現在の事業者と契約している。

日下委員

最小の費用で最大の効果をあげるとするのは、行政執行にあたっての目標であるので、本来は競争原理を働かせるのが原則だと思う。

それと、今説明があった業務内容、ノウハウと言えるかどうか疑問に思っているが、その辺についてはどうか。

大元総務課長

ノウハウに関しては、それぞれの感じるところがあると思うので、一概に良いか悪いかは判断つかないが、業務内容からして、随意契約で実施するという形で決定をしている。

日下委員

どういう方法で協力隊員を募集しているのか。

井原まちづくり振興課長

インターネットの各サイト上で、相談窓口として受け入れ業務を担っていただいている。

日下委員

インターネットで募集することは、ノウハウじゃなくて誰でもできる仕事ではないのか。

特殊な能力というふうには思わないが、その辺についてはどう思うか。

井原まちづくり振興課長

地域おこし協力隊OBという部分と、きもべつ関わりかた相談窓口というサイト、あと、全国の協力隊との連携とか、情報とか、そういったことを兼ね備えている。

日下委員

相談業務の中身について伺いたい。

井原まちづくり振興課長

全国から情報とか、問い合わせとか、地域おこし協力隊のみならず、移住希望者の問い合わせの連絡やコーディネートを担当いただいている。

日下委員

毎年同じ方が受けていて、競争原理も働いていないし、協力隊OBは他にもいる。

随意契約は、特殊な技術とか、特別な仕様で他に変える手段がない時以外は、原則は入札かプロポーザル。

今後、見直すかどうかも含めて町長か副町長か、責任ある立場の方に答弁いただきたい。

河田副町長

8年度については、随意契約ではない方法で考えていきたい。

林町長

長い間、協力隊OBで、インターネットについて長けた人に対して、随意契約で来ていた。

こういう時代になり、色々な方々がSNSやインターネットを使える状況になっているので、一度仕切り直して、プロポーザルなり、方法を考えて、令和8年度は募集かけていきたい。

日下委員

財産貸付収入が、昨年度に比べて減額した理由をお聞きしたい。

井原まちづくり振興課長

7年度に実施した、中山峠の床下工事の際に、4週間の休業を委託業者で余儀なくされたことから、その分を考慮して400万円減額した。

日下委員

昨年までは賃貸料4000万円と承知しているが、今回は3600万円。

休んだ期間が4週間だから、本来12分の1だが、1割の400万円減額しており、その根拠についてお知らせいただきたい。

林町長

当時、1か月2000万円の売り上げがあるということで、どれだけ損害があったのか話をした。

1ヶ月間、従業員を抱えたまま休む損失補償も含め、全体的に加森観光との話で、400万円と私の方で話した。

日下委員

本来は営業休止することによる経費というのは、営業している会社が持つべきだと思う。

あえて町が負担してやる意義について、お伺いしたい。

林町長

加森は、毎月点検していたが、本町の施設によって全館閉鎖しなければいけなかった。

加森はあげいもコーナーだけ閉鎖してということであったが、町としては硫化水素とか、色々なことが心配されるから、全館閉鎖でお願いしたいということで、営業補償した。

日下委員

中山峠高原ホテル高圧設備更新工事の工事内容、そして、高原ホテルの高圧設備とはそもそもどんな設備なのか説明をいただきたい。

井原まちづくり振興課長

高原ホテルの電柱から建物に電源を供給するにあたり、200ボルトから高圧の電気を変

換して100ボルトに収める施設である。

日下委員

この電源は、例えばスキーのリフトとかは関係ない電源でよろしいか。

井原まちづくり振興課長

あくまでもホテル施設内での電源である。

日下委員

今年の賃料収入は、休業補償分を引いて3600万円ということであるが、来年度以降は4000万円に戻すのか、またさらに違った形の賃料を加森観光と交渉していくのか。

林町長

来年度以降は4000万円からである。

私としては、スキー場で赤字があるので、4000万円ということであった。

赤字の部分は物産館の利益から補填しているのであれば、スキー場をやめれば補填している部分は、本町に入ってくるんじゃないかと言う質問をしている。

日下委員

今回、高圧設備工事費に1300万円かかるが、例えば、スキー場の営業を一切やめたら、この設備の更新というのは要らないんじゃないのか。

林町長

ホテルだけでも買いたいと言うところがあった時のために、できるだけ法的にきちんとしなければいけないという考えである。

日下委員

更新ということであれば1300万円だが、PCBの部分だけ廃棄するということであれば、予算はもっと減額になるのか。

井原まちづくり振興課長

撤去及びPCBの養生を含め、だいたい約420万円ぐらいである。

日下委員

物産館、高原ホテル、それからスキー場にかかる総経費についてお知らせいただきたい。

井原まちづくり振興課長

中山峠地域振興、こちら需用費から工事請負費まで該当する部分を含め、2783万8000円である。

日下委員

ここは加森と相談して、スキー場は一旦休止し、高原ホテルもやらず、賃貸料を上げていただくよう、町は少し交渉するというお考えはどうか。

であるとしたら、今回の高圧設備更新についても、撤去はやらなきゃいけないが、更新についてはその支出は抑える。

林町長

私の方も加森観光と話した中では、そのような方向性で考えている。

やめるのであれば、私は、4000万円じゃなくて5000万円は請求しようと思っている。

物産館だけであれば、もしかしたら、6000万円7000万円でもやりたいという会社も出てくるかもしれない。

山下委員

紙類の売却代金26万1000円の詳細について説明を伺いたい。

菅原住民課長補佐

ミックスペーパー、ダンボール、雑誌、新聞の合計32tを見込んで、26万1000円を計上している。

紙製容器は、全国容器リサイクル協会に引き取っていただいております、再商品合理化拠出金がビン、缶、紙製容器、廃プラの代金として計上している。

山下委員

中里団地の解体事業で800万円とあるが、解体後、更地にするだけでは、過疎債はあたらなと思うので、今回、過疎債は考えていないという理解でよろしいか。

酒井建設課長

公営住宅建設事業債を充当することで考えているので、過疎計画には載せてはいるが、過疎債は申請しない。



▲中里団地

山下委員

そちらも、国からの交付税措置はあるのか。

酒井建設課長

交付税措置はない。

山下委員

町長交際費について、林町長になって毎年10万円ずつ上がっているが、いくらまであげたいと言う目標はあるのか。

林町長

目標はなく、しばらくの間、この金額でできるのではないかと考えている。

山下委員

ふるさと応援寄附金返礼品広告料200万円は、昨年は見当たらなかったが、どういったものなのか。

井原まちづくり振興課長

寄付する方がポータルサイトを開いたときに、キーワード検索で下位表示となって埋もれてしまわないような広告料である。

山下委員

Jアラート更新業務委託料の財源として地方債1740万円を当てるが、返済に際して、国からの交付金などあるのか。

花岡防災監

Jアラートの更新は、緊急防災減災事業債の対象で、地方交付税措置率は70%である。

山下委員

社会福祉協議会の補助金が、昨年から大幅に減っている理由を伺いたい。

菊地元気応援課長

現在の事務局長が7年度末で定年により退職されるところが大きい。

林町長

社会福祉協議会も預金が底をついてきている状況で、新たな事務局長を選ぶより、役場から精通した人間を今年度派遣することになり、負担金が減った。

令和8年度喜茂別町下水道事業会計予算について

越後委員

公営企業会計包括支援業務委託料が追加されたが、詳細を伺いたい。

奥野建設課長補佐

令和6～7年度は簡易水道事業と下水道事業の2事業で公営企業会計アドバイザー業務を実施したが、8年度は、下水道事業のみ公営企業会計包括支援業務とし、経費削減を図った。

越後委員

委託料はいくら計上されているか。

奥野建設課長補佐

390万円計上している。

越後委員

令和6～7年度は330万円ずつ、計660万円アドバイザー契約委託されていた。削減すべきものは削減し、必要な分野には適切に予算配分すべきと考えるが、見解を伺う。

林町長

乱暴的に各課で500万円削れと言い、ここで270万円減っており、私は認めている。委託の場合は会社の利益も含まれているから、今後もできるだけ町でできるものは町でやる。

臨時会 1月22日

令和7年度喜茂別町一般会計補正予算（第6回）について

越後議員

青少年スポーツ文化助成金の内訳を聞きたい。

例えば、引率者にも出るのか、食費等も含まれるのか等。

秋山教育次長

選手・外部コーチ等の交通費、宿泊料、参加料、ゼッケン、ユニフォーム、北海道選手団のテント使用料、ワックス代、プログラム、振込手数料、宿泊料に含まれない食事代である。

寄付行為の禁止

議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

また、有権者が求めてもいけません。

ご理解をお願いいたします。



臨時会 2月16日

令和7年度喜茂別町一般会計補正予算（第8回）について

越後議員

昨日一昨日ぐらいのニュースで、特別豪雪地帯補助金についてやっていたが、本町は対象地域か。

大元総務課長

本町は特別豪雪地域に指定されている。

越後議員

対象市町村にいくらくらいのお金があるのか、また、除雪の修繕費だとか何に充ててもいいお金なのか。

酒井建設課長

まだ国から、具体的な話が来ていない。

表紙写真を募集します。



あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

詳しくは議会事務局まで

次の定例会は
6月16日を予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局
(TEL 33-2217) で確認ください。

月	日	行 事	出席者	場 所
1	17	喜茂別町老人クラブ連合会 新年会	議 長	
	22	第1回臨時会	全議員	
		全員協議会	全議員	
	29~31	地方議会セミナー	各議員	東京都
2	8~9	議会改革特別委員会視察研修	全議員	芽室町
	12~13	後志町村議会議長会 定期総会・行政懇談会	議 長	札幌市
		16	第2回臨時会 経済常任委員会	全議員 全委員
	24	総務常任委員会	全委員	
		全員協議会	全議員	
	27	後志広域連合議会 定例会	組合議員	倶知安町
3	5	全員協議会	全議員	
		議会運営委員会	全委員	
	11~17	第1回定例会	全議員	
	13	喜茂別中学校 卒業証書授与式	全議員	
	17	予算特別委員会	全委員	
	20	喜茂別小学校 卒業証書授与式	各議員	
	21	喜茂別保育所 第67回卒園式	各議員	
	23	羊蹄山麓環境衛生組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
		羊蹄山ろく消防組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
4	6	喜茂別小学校 入学式	全議員	
		喜茂別中学校 入学式	全議員	
	18	喜茂別町老人クラブ連合会 総会	議長	
	20	羊蹄山ろく消防組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
	24	第3回臨時会	全議員	
		全員協議会	全議員	
5	7	後志総合開発期成会 定期総会	議長	倶知安町
	7~11	議会広報編集委員会	各委員	
	9	北海道植樹祭	議長	枝幸町
	14	喜茂別町商工会 通常総会	議長	



編集後記

喜茂別議会の平均年齢は全国でトップクラスに若いです。
 この議会だよりの編集も、AIを積極的に活用するようにしています。
 これからも、新しい技術や取り組みにチャレンジし、よりよい議会、よりよい町づくりに生かしていきます。
 来年は、町議会選挙があります。
 是非とも、多くの方に関心を持っていただき、そして、多くの方に立候補していただき、前回のような無投票にならないよう、切磋琢磨していきたいです。

議会広報編集委員会委員長 山下 純